

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		家族アンケート結果にて利用者の身体レベルが低下していると感じるご家族があり、リハビリの要望希望がある。	室内で出来るリハビリをプランとして挙げ、日課として行う。ご家族には生活の中で行っているリハビリについて理解していただけるようにする。	訪問リハビリスタッフ等と連携し、具体的なリハビリの手段を取り入れ、日課として行うようにする。またご家族には、ゆうゆう通信等を利用して、生活の中で行っているリハビリの理解をいただけるようにする。	12ヶ月
2		地域住民の参加する火災・避難訓練の実施が出来ていない。	地域住民の参加する火災・避難訓練の実施。	運営委員会や運営推進会議などを通し地域住民に呼びかけ、火災・避難訓練を実施し緊急時に備える。	12ヶ月
3		個人史を作成したが、活用するところまで行っていない。	個人史の不足の部分や輝いていた時の深めを行ない、個々のケアに役立て、スタッフ全員が共有し活用出来るようにする。	家族や利用者からの情報収集をさらに行ない、輝いていた時や嬉しかったこと、楽しかったことの部分の思い起こしが出来るようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。